

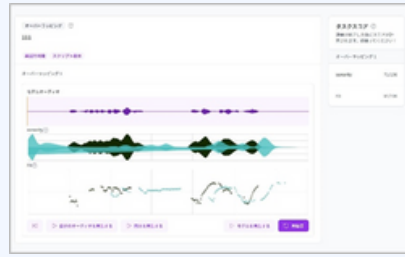
TSUKUBA KYOTEN NEWS

The Center for Distance Learning of Japanese and Japanese Issues
筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター
日本語・日本事情遠隔教育拠点

2024

新しい日本語学習コンテンツ『にほんごオーバーラッピング』を公開しました。

<https://www.intersc.tsukuba.ac.jp/~kyoten/overlap/>



モデル音声で「聞いて・見て・真似る」ことで、日本語韻律の習得を支援するWebコンテンツです。お手本にしたい音声をセットすると、その韻律（強弱と抑揚）が画面に表示されます。それを見ながら、カラオケのようにモデル音声と同時に発音します。自分の韻律がモデル音声に重なって表示されるので、どこでどのように異なるかが分かり、一致度のスコアも得られます。ぜひ楽しんで使ってみてください。

- ▶ 自身の韻律が可視化され、モデルと重ね合わせて表示。一致度のスコアも計算されます。
- ▶ 興味・関心に合った素材（音声と動画）でタスクを作成できます。
- ▶ 教員やネイティブがいなくても、自律的に音声学習を進めることができます。

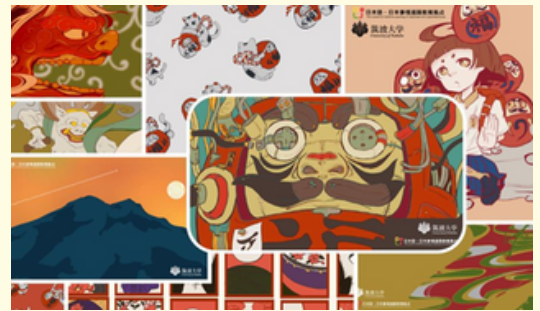


当拠点オリジナルバーチャル背景を公開しました。

https://www.intersc.tsukuba.ac.jp/~kyoten/virtual_bg/

リモート会議やオンライン授業が当然の選択肢として普及している昨今、日本語教育に関わる当拠点としてそのような状況に少しでも彩りを添えようと、オリジナルの壁紙（バーチャル背景）を制作しました。招き猫、獅子舞、だるま、アニメ風、日本画、花札など、日本文化の魅力が詰まった個性豊かなイラストデザインで制作しています。全14種類ありますので、ぜひお気に入りの一枚を見つけてみてください。

- ※ 画像の使用にあたっては個人の責任においてご利用ください。
- ※ すべての画像の著作権は筑波大学に帰属します。



ワークショップ『第6回 日本語教育とICT活用を考える <ツール編>』が7月27日に開催されました。

6回目は寺嶋弘道先生（立命館アジア太平洋大学）をお招きして「コーパスツールの活用を考える～どのように学習者に使ってもらおうか～」というタイトルでご講演をいただきました。当日は参加者が先生の説明を聞きながら、実際にPCでコーパスツールを操作しグループワークを行いました。

参加者アンケートでは「コーパスは、知ってはいても使いこなせなかった…というのがありました。寺嶋先生の穏やかでわかりやすいご説明でおもしろさを認識しました。どうしても研究で活用するものというイメージでしたが、学習者にも積極的に活用してもらいたいものと強く思いました。」「新しい知識が多く得られて、大変ありがたいワークショップでした。早速周りの方々に伝えたいと思っています。」などの感想が寄せられました。次回も様々な講演会・ワークショップを予定しております。ホームページやX（旧Twitter）、FaceBookで情報を発信します。

筑波大学 CEGLOC
日本語・日本事情遠隔教育拠点 主催
第6回
日本語教育とICT活用を考える
＜ツール編＞

ペーパードキュメントでは、コンテンツの開発者などによる公開し、一部機能などに特化してコンテンツが利用できるようになることにより、ワークショップ等を行います。

寺嶋 弘道 (立命館アジア太平洋大学)
コーパスツールの活用を考える
～どのように学習者に使ってもらおうか～

コーパスツールとは、大規模なテキストの中から特定の言語を分析するためのツールです。このワークショップでは、少人数やNINJA-LWP for TWCといったコーパスツールの機能や使い方を紹介するとともに、学習者にどのように使ってもらえたいかを一緒に考えていきます。また、NINJA-LWP for TWCを授業で導入する際に役立つウェブサイトを紹介いたします。

日時：2023年7月27日(木) 14時～16時
開催方法：オンライン (Zoom ミーティング形式)
定員：50名(後援) 参加費：無料

参加申込： <https://forms.gle/3X7X7b9a9G5a29>
参加申込締切：7月27日(木) 14時前 (申込締切後に参加費がかかります。)

お問い合わせ先： jp-kyoten@qun.tsukuba.ac.jp <https://www.intersc.tsukuba.ac.jp/~kyoten>

筑波大学CEGLOC日本語・日本事情遠隔教育拠点では、本学が持つ言語・文化・教育・研究・国際交流に関するコンテンツ・ワークショップを目的として今後も開催を計画しております。皆様のご参加、お待ちしております。

Topics

「世界各地の社会的要請に対応可能な日本語教育シンポジウム」が9月25日に開催され、当拠点も参画しているJV-Campus（“Japan Virtual Campus（JV-Campus）”プラットフォーム）コンテンツについての発表を行いました。

本シンポジウムは独立行政法人学生支援機構（JASSO）2023年度東京国際交流館国際シンポジウム事業からの助成を受け、日本語教育の今後の発展が期待されるASEAN、中央アジア、アフリカの日本語教育研究組織と国内大学が連携して、社会的に求められる新たな日本語教育を実現するために、日本語教師養成およびオンライン学習コンテンツ開発等の日本語教育について意見交換を行いました。

参加者アンケートには「JV-Campusの取り組みなど、知らなかった情報等を多く手に入れることができた。」「JV-Campusにおいて日本語教育コンテンツをどう作ろうとしているのか、将来的な話が聞けた。」「オンライン教育と対面教育の課題について知見を得ることができた。」などの感想が寄せられました。



基調講演



ラウンドテーブル

現在当拠点にて開発中のJV-Campus提供予定コンテンツをご紹介します。順次コンテンツを公開し、ホームページ、X（旧Twitter）やFaceBookにて公開情報をお知らせします。

生活日本語コンテンツ	にほんごアベニュー	現在公開中の「にほんごアベニュー」が話例集から教科書設計へ。授業内での活用を目的としていますので教員が学習者の利用軌跡を辿れるグループ管理機能を加えたシステムへとリニューアルされます。
アカデミック 日本語コンテンツ	語彙チェッカー（仮称）	日本語教師の直感に依らない語彙や文法のレベル判定ができるシステムです。より正確なテキスト解析機能や、取り込んだテキストから穴埋め問題テストなどを作成できる機能を搭載。 日本語の自律学習支援や授業準備の簡略化などに活用できます。
	TsukuBook 〈つくブック〉（仮称）	「TsukuBook（つくブック）」は、本学オリジナルの多読教材（初級～中級レベル）をオンラインで読めるシステムです。
	日本語教育用動画配信システム（仮称）	初級の日本語学習者が来日直後から遭遇し、日本語を使って自らやりとりする必要がある場面の、会話動画を配信するシステムです。
キャリア支援ビジネス 日本語コンテンツ	就活JUMPスタート 就職支援システム	日本企業向けエントリーシートの作成支援やAIを使った面接の練習ができるなど多彩な機能を搭載した、留学生の就職活動を支援するシステムです。
日本語音声評価 コンテンツ	Speech Training System for Japanese	日本語学習者が日本語の音声学習を効率化し、発話の評価や学習の記録を自身で管理することを通して、自律的な音声学習を総合的に支援するシステムです。

昨年は記録的な猛暑となりましたが、例年より少し遅く学内の紅葉が見頃でした。事務室の近くで自然が織りなす美しい色彩を感じることができ、仕事の合間や休憩時間にリフレッシュしています。

昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。

今年もお役に立てる日本語学習オンラインコンテンツの開発や実効性のある活用方法をご提案できるよう拠点員一同尽力して参ります。

ご意見やご感想などございましたら、ぜひお寄せ下さい。

